

明言 深聞

本音を探る

ずばり答える

が経済活動をしなければ活
旧正月に島外のツーリズム
客の受け入れを試行した
小さな成功体験を重ねるこ
とを重視した。伊平屋島で
は特産品への反応を知るた
め、会議後2週間しかなか
ったが、ムーンライトマラ
ソンのイベントに合わせて
商品開発から販売までやつ
た」

「島々の取り組みがどう
変わったか。
―官民のほかに住民間、あ
るいは離島間の情報交換が
た点はあるか。
―単に議論で終わらず、
「今後の課題は。
―それぞれ次のステップ
が大切」

「特産品開発や地域ツー
リズムの取り組みを喜び
に、楽しみに感じることが
事業継続のエネルギーにも
なる。北大東の月桃マット
は、肌の弱い人に人気で、
西表島の工房の指導で製品
化した。本部町水納島の黒
豆ジャムも、プロの料理家
の指導による共同開発。み
んな一生懸命、アイデアを
出した商品で工夫がある。
楽しみにしてほしいし、ぜ
ひ島の取り組みを応援して
ほしい」

これが明確でなければどん
な事業であつてもうまくい
かない。また、行政がどん
なに旗を振っても地域の人
活発になった。栗国島では

地域活性 意識の共有から

県の「離島活性化専門家
派遣事業」の本年度事業
で、特産品開発や地域ツー
リズムに取り組んだ9町村
(11島の即売・発表会ぶ
ち離島フェア)島から来た
さあ。」が28、29の両日、
ゆいレール県庁駅構内で開
かれる。離島活性化に向け
た本格的なソフト事業とし
て注目されてきたが、本年
度が最終年度。2年間、民
間の地域支援コンサルタン
トの立場から直接、現場で
支援に当たったカルティベ
イトの開梨香社長に、事業
の意義や成果、課題などを
聞いた。

カルティベイト社長

開 梨香氏



ひらき・りか(本名・比嘉梨香) 19
59年生まれ、石垣市出身。琉球大学卒業
後、県内放送局のアシスタントディレ
クター、インテリア関連会社代表を経
て2000年に有限会社「開」(現カルティ
ベイト)を設立。地域振興の支援事業
を手掛けるほか、NPO法人日本エコ
ツーリズム協会理事として幅広く活躍
する。07年4月から県教育委員。

「事業の意義は。
―地域活性化のために島
の人が何をやりたいのか。」

正教)

(聞き手)政経部・上岡